

平成 31 年 3 月 9 日

## トンネル工学委員会 技術小委員会 シールド工用立坑の耐震設計法検討部会 委員の募集

### 1. 組織名

シールド工用立坑の耐震設計法検討部会

### 2. 設置目的

シールド工用立坑の常時に関する設計については、トンネルライブラリー第 27 号「シールド工用立坑の設計」に仮設設計および本体設計の現状を体系化してまとめ、課題についても明らかにした。

しかし、基盤層まで達する大深度立坑が増加してきているため、立坑の耐震設計についても個々のケースで技術者の判断に任せているため、大深度立坑の耐震設計法について広く議論し、体系的に取りまとめることは重要な課題である。

本検討部会はシールド立坑の合理的な耐震設計法について検討を行い、この分野に携わる技術者に有益な情報を公開することを目的とするものである。

### 3. 活動内容

活動内容は以下のとおりである。

- ① 地盤応答の算出手法に関する検討
- ② 基盤層に達する大深度立坑の地盤モデル深さに関する検討
- ③ 立坑の耐震構造解析モデルの精度向上に関する検討
- ④ 耐震性能評価に関する検討（破壊状態の設定など）
- ⑤ 立坑の耐震対策に関する検討
- ⑥ ライブラリーの作成
- ⑦ 講習会の開催

### 4. 活動期間

2019 年度より 3 年間を目標とする。会議の開催回数は年 6 回程度を予定し、原則として会議の場所は土木学会の会議室とする。そのほかに、メールによる審議や調整を頻繁に行う予定である。

### 5. 委員会構成

オブザーバー：小泉 淳（早稲田大学名誉教授）

部会長：岩波 基（早稲田大学）

幹事長：仲山貴司（鉄道総合技術研究所）

委員：シールドトンネルや都市トンネルの分野を中心に、大学、発注機関、コンサルタント、ゼネコンより 15 名程度を募集

### 6. 成果の公表

トンネルライブラリーおよびその講習会により成果を公表する

## 7. 応募の方法

応募先：仲山貴司（鉄道総合技術研究所）[nakayama.takashi.61@rtri.or.jp](mailto:nakayama.takashi.61@rtri.or.jp)

にメールにてお願いします。

記載内容：氏名，所属，連絡先（メール，電話番号，住所），希望理由（簡単で結構です）